

備え付けのエコキュートの使いはじめ

エコキュート

タンクの水を抜いた後は、次の手順で給湯機の使用を再開します。また、タンクの水を抜かずに1ヵ月以上お湯を使わなかった場合は、給湯機の水を抜いてから次の手順を実施ください。

- ※給湯機を初めてご使用になる場合など
方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。(有料)
- ※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。
- ※入居時など、タンクが満水かどうか知りたい場合
給水配管専用止水栓を開き、逃し弁のレバーを手前に起こしたり戻したりして、排水口から多量の水が出るか確認してください。
- ※不使用期間がわからない場合
給湯機の水を抜いてから次の手順を実施してください。

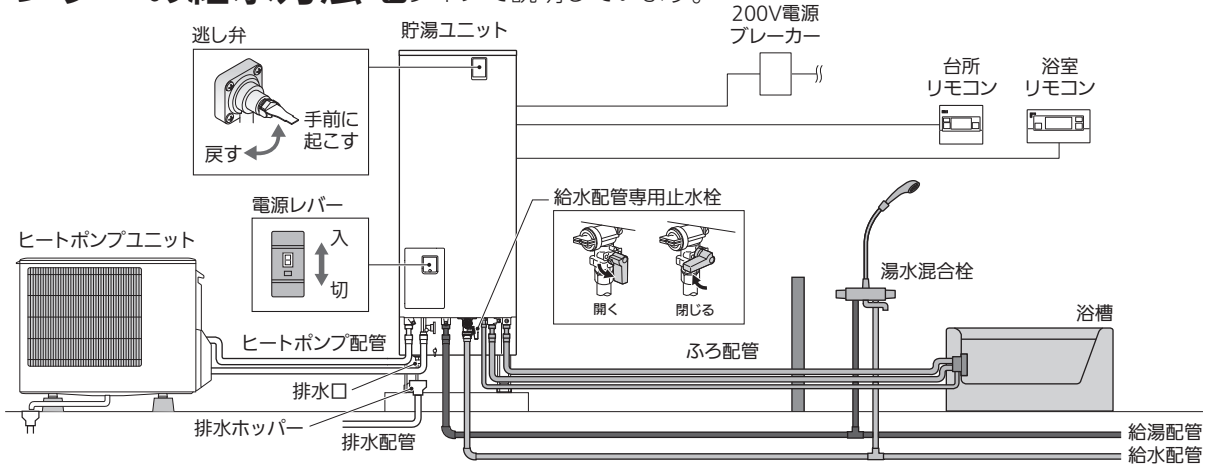
※ご使用される機器により操作方法が異なります。詳しくは、ご使用される機器の取扱説明書をご覧ください。

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

www.mitsubishielectric.co.jp/wink



タンクへの給水方法 タイプで説明しています。



- お願い**
- 給水配管専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。
 - 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。

1 次のことを確認する

- 200V電源ブレーカー：「切」
- 貯湯ユニットの電源レバー：「切」
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水抜き栓、排水栓、給水ストレーナー：「閉」
- すべての蛇口(湯水混合栓)：「閉」

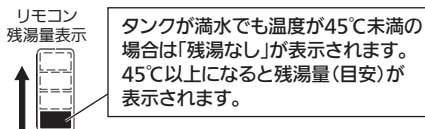
お願い ●満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。故障の原因となります。

2 機器を満水にする

- (1) 逃し弁のレバーを手前に起こす
- (2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
 - 給湯配管に止水栓が取り付けられている場合は、開いていることを確認してください。
- (3) 貯湯ユニットの排水口から水が出ると満水の合図です
満水までの目安:約30分(コンパクトタイプは約10分)
 - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
 - 水がタンクに入らない場合は、次の手順で電源を入れ直してください。
 - ①200V電源ブレーカーと電源レバーを「入」にする
 - ②約30秒後、電源レバーと200V電源ブレーカーを「切」にする
- (4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す(排水が止まります)

3 満水を確認後、電源を入れる

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 電源レバーを上げ、「入」にする
 - 電源を入れると、昼間でも上がり始めます。
 - お湯の増加とともに残湯量表示が増加します。最初は「残湯なし」が表示されます。



4 機器のエア抜き運転をする

- (1) 台所リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す

- エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」が表示されます。約10分後に自動で停止します。
- タンクが満水になる前にエア抜きをすると、30分程度かかる場合があります。
- 同手順(「▲」「▼」同時3秒押し)で、エア抜きを終了できます。
- 初期のみ、電源を入れる(3項)と、自動でエア抜きします。

- (2) エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす(1分後、レバーを戻す)

5 リモコンの日時を確認する

- 他の設定も工場出荷時に戻っていることがありますので、確認してください。
- 初めてご使用の場合は電力契約モードを確認して、ご契約の内容に合わせてください。

6 お湯を使う

- 約8時間(コンパクトタイプは約4時間)で満タンまでわき上がります。
- 湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にして給湯を開始し、適温に調整してください。(やけど防止)

警告

使いはじめは、しばらくお湯に触れない(やけどの原因)
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。